

認定看護師ニュースレター第 88 報

感染管理認定看護師の奥田聖子です。

7 月に横浜で開催された第 40 回環境感染学会に参加してきました。
時代が変わったなと思ったのは陰部ケアが洗浄からワイプでの清拭に変化して
きていることです。導入後の感染率も変わらなかったとの報告が多数ありました。
比較してみると・・・



	シャワーボトルで洗浄	ワイプで清拭	備考
必要物品 	シャワーボトル・お湯・洗浄剤・おむつ・保湿剤・手袋・エプロン・アイシールド・マスク	ワイプ・手袋	※共通物品は省く。 必要物品や防護具の違いが大きい。
時間	準備・片付け含め時間要	洗浄と比較し短時間	
皮膚への影響	排便時は汚染を除去しやすい。 褥瘡や真菌陽性者などは洗浄のほうが良さそう	排便の量や性状によっては汚染除去しにくいケースあり。 皮膚保護剤含有で保湿され皮膚はしっとり。	
飛沫による汚染	シャワーボトルや周囲に跳ね返り、汚染あり	飛沫はなし	洗浄はこぼれるとシーツ交換も必要。
接触による汚染 	手袋やエプロンを適切に交換しないと新しいおむつやリネン、シャワーボトルなど物品への汚染あり	手袋を適切に交換しないと新しいおむつやリネンを汚染する	同等ですが使用物品が少ない分ワイプが有利
破棄や後片づけ	ワイプでの清拭と比較するとゴミの量が多い。汚物処理室まで移動しシャワーボトルの洗浄消毒作業あり。	ベッドサイドでゴミ袋におむつと使用したワイプと手袋を一緒に破棄。洗浄と比較すると業務が少ない。	準備と片付けの時間の人件費を考えるとワイプ使用のほうがメリットありそう。

どちらが良くてどちらが悪いということではありません。時間短縮や業務改善、皮膚保護剤含有で保湿にもなるため、陰部ケアの選択肢を増やしたいと思い導入することにしました！

排便の量や性状、褥瘡があって傷のところはしっかり拭けない場合や、真菌感染症があり洗浄してからお薬を塗りたいなどケースによっては今まで通り洗浄を行ってください。

ワイプでの清拭は、時短にもなり感染率にも変化がないと報告がいくつもありましたのでワイプでの清拭もどんどん取り入れてください！